

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっていただくため、
取付け作業前に必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。
☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

- エンジンは、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。エンジン付近の取付け作業やボルトの増し締め作業は、エンジンが十分冷めていることを確認の上、作業を行なってください。
- 素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行なってください。
- 取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行なって下さい。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行なって下さい。
- 本製品や取付部などにキレツ等が見つければ、すぐに使用を中止して下さい。



注意

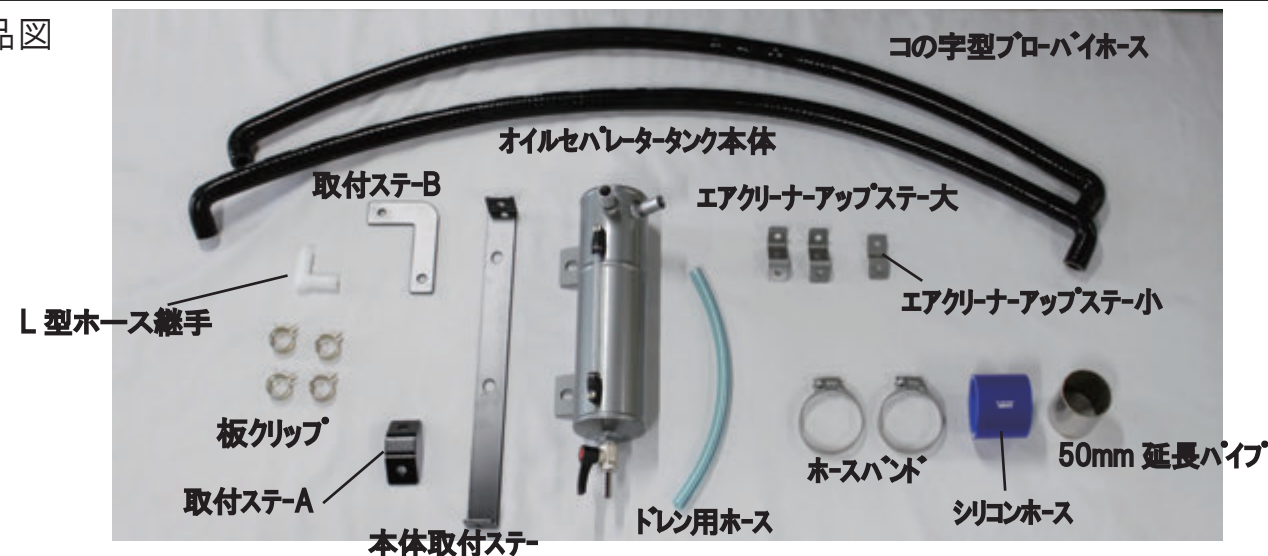
- 海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをして下さい。
- サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承下さい。

本製品の構成部品について

●取付説明書	×1	●タイラップ(SG-200W)	×3
●オイルセパレータータンク本体	×1	●M10×20アブセットボルト小型3点セムス(P=1.25)	×3
●本体取付ステー	×1	●M10フランジナットセレード付(小型P=1.25)	×3
●取付ステー-A	×1	●M8×20六角ボルト(小型P=1.25)	×2
●取付ステー-B	×1	●M8ナット(小型P=1.25)	×2
●ドレン用ホース	×1	●8SW	×2
●No.2 コの字型プロパイホース φ13	×2	●8平W	×4
●L型ホース継手	×1	●M6×15アブセットボルト3点セムス	×3
●板クリップ	×4	●6平W	×3
●No.5 シリコンホース φ48	×1	●M6ナイロンナット	×3
●ホースバンド 32	×2	●M6×40アブセットボルト3点セムス	×1
●50mm 延長パイプ	×1		
●エアクリナーアップステー大	×2		
●エアクリナーアップステー小	×1		

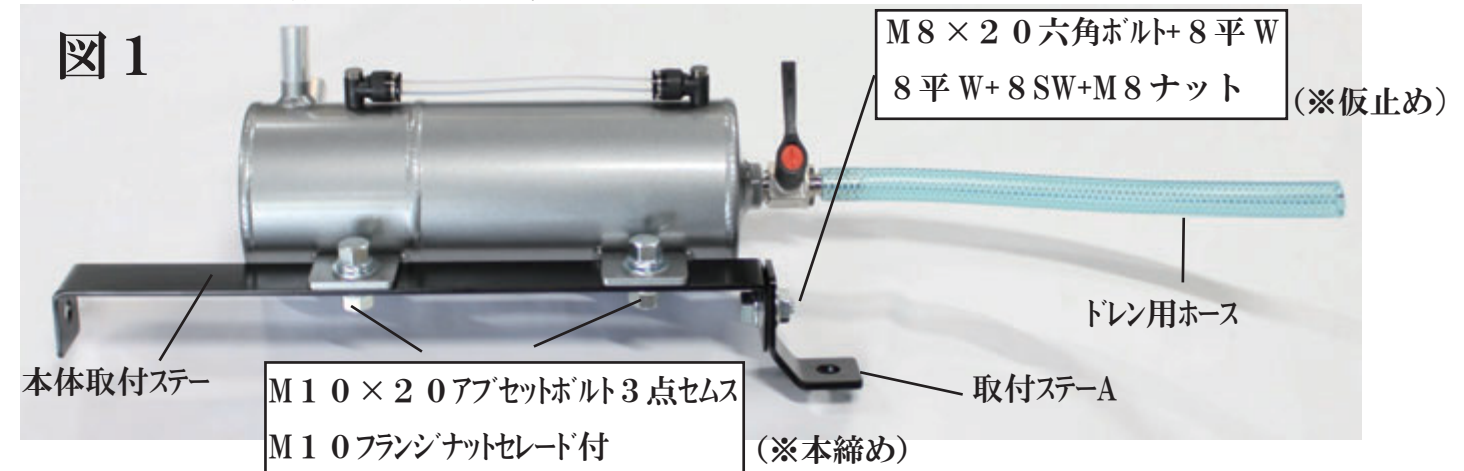
※タニグチの純正エアクリナー用サクションキットを既に装着している場合は、
Eホースを交換する必要があります。Eホース単品注文可能。

部品図

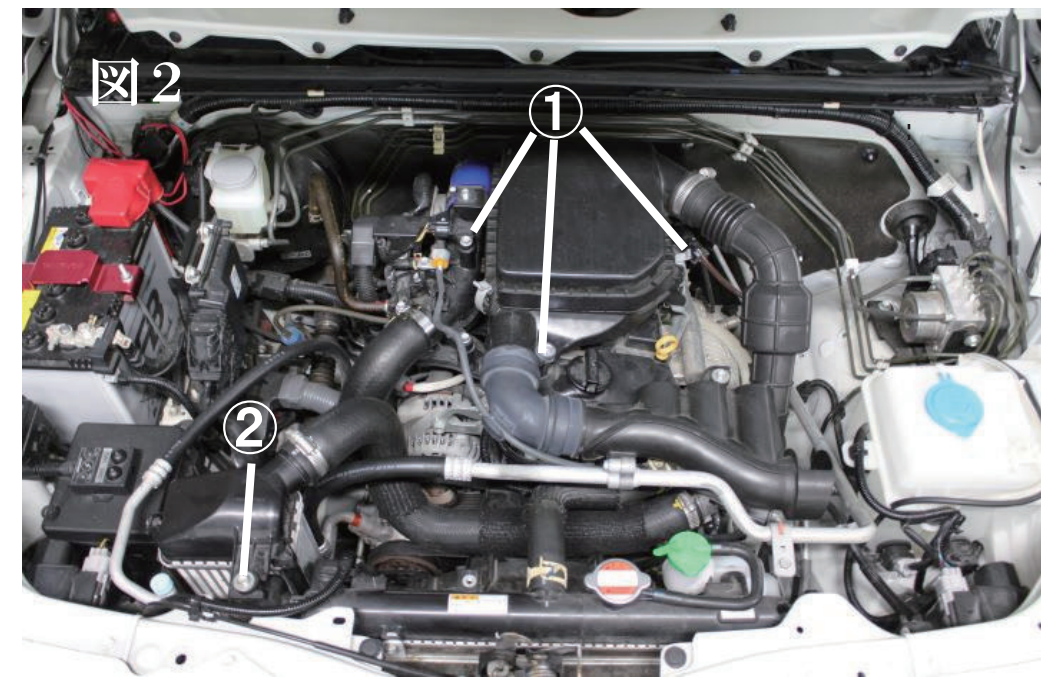


本製品の取付手順について

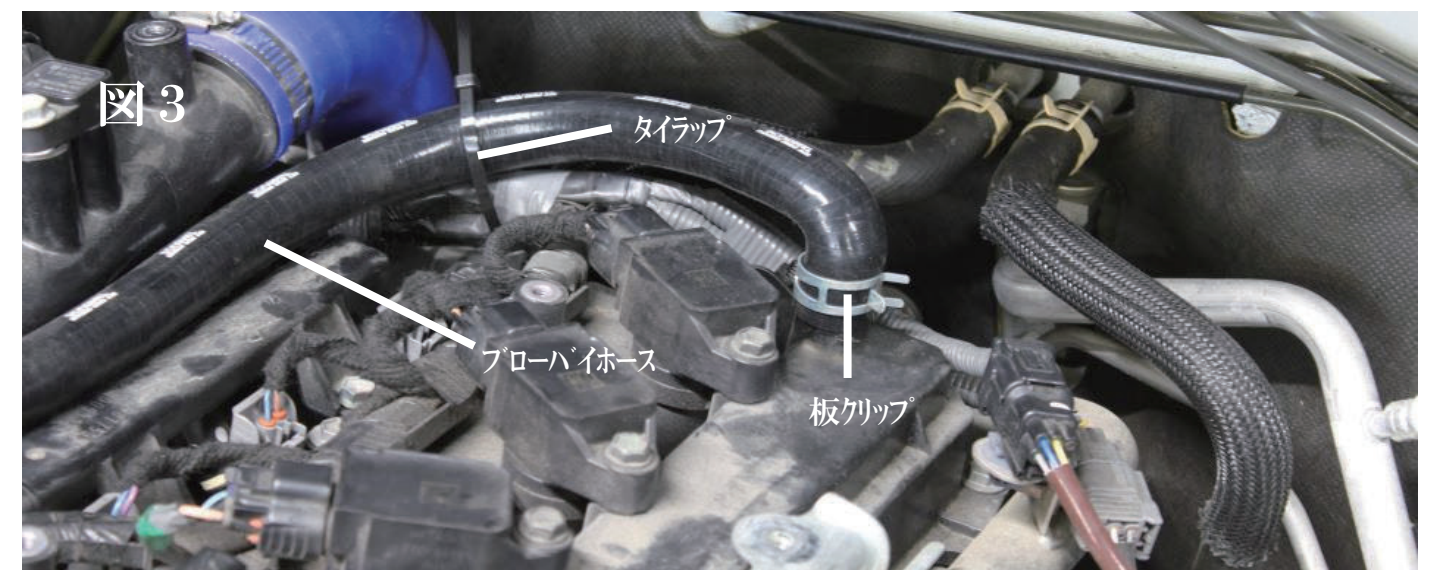
- 1 オイルセパレータータンク本体の組み立て
図1のように取付ステー-Aを本体取付ステーに仮止めし、本体取付ステー、ドレン用ホースをオイルセパレータータンク本体に取り付けてください。



- 2 純正エアクリナーボックス、インタークーラーの取り外し
 - 2-1 ①のボルトを緩めてエアクリナーボックスとボックス裏の純正ブロパイホースを取り外して下さい。
(※外したボルト、板クリップ等は再使用します。)
 - 2-2 ②のボルトを緩めてインタークーラーを取り外して下さい。
- ※タービン内部に異物が入らないように注意して下さい。**

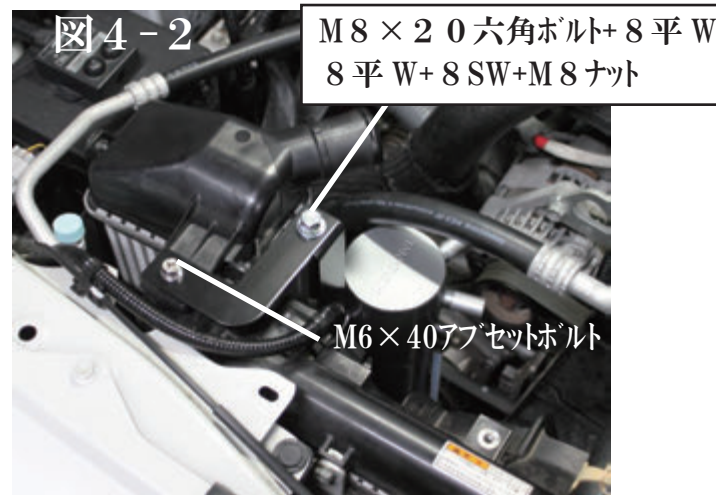
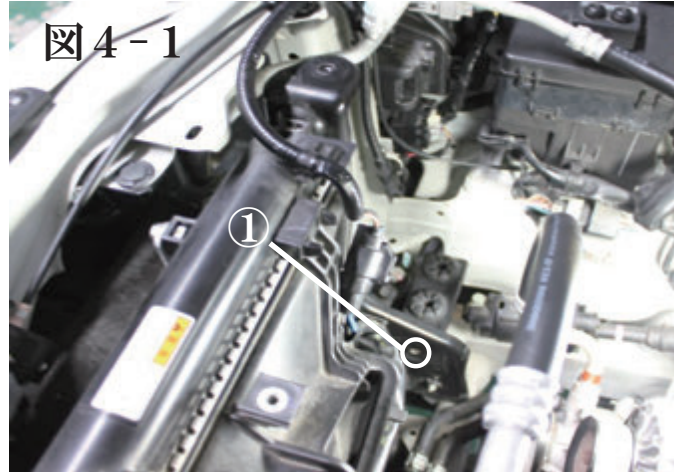


- 3 コの字型プロパイホースを図3のように板クリップで繋ぎ、タイラップでコード等と一緒にまとめて下さい。



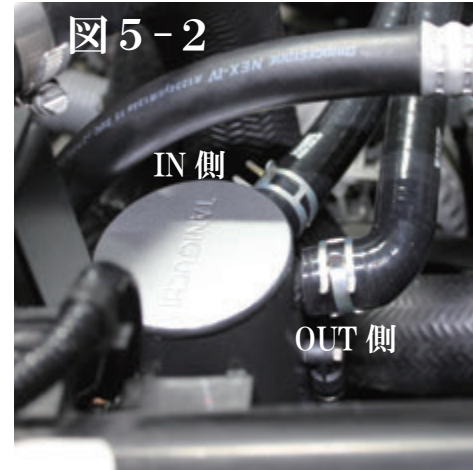
4 オイルセパレータータンク本体とインタークーラーの取付

- 4-1 図4-1の①の穴のエンジン側に1で組み立てたオイルセパレータータンク本体の取付ステー-A が来るように M10×20アプセットボルト、M10フランジナットで取り付けて下さい。
- 4-2 図4-2のようにインタークーラーと取付ステー-B を M6×40アプセットボルトで共締めし、取付ステー-B と本体取付ステーを M8×20六角ボルトで仮止めして下さい。

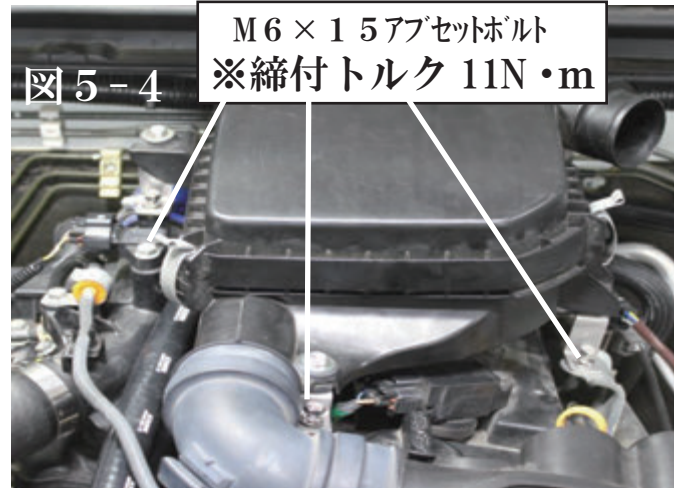
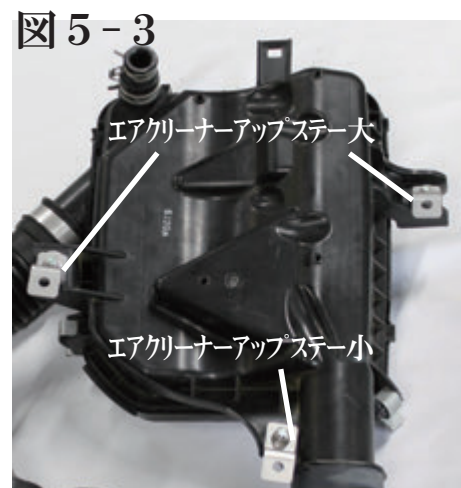


5 ブローパイプとサクシオンホースの取付け

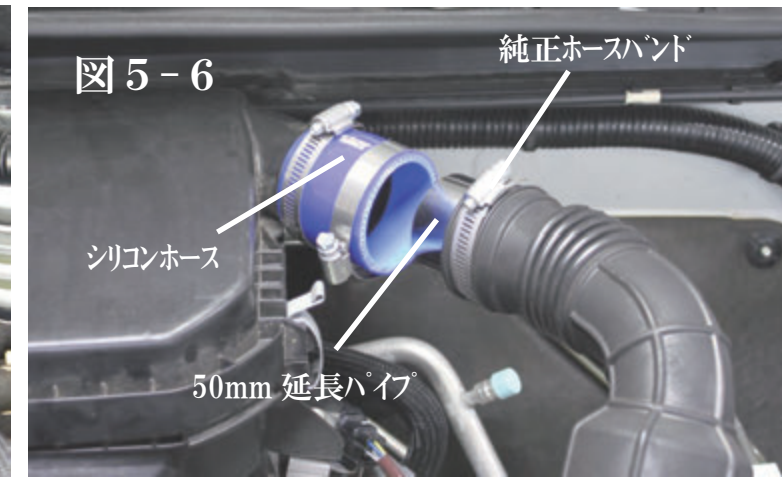
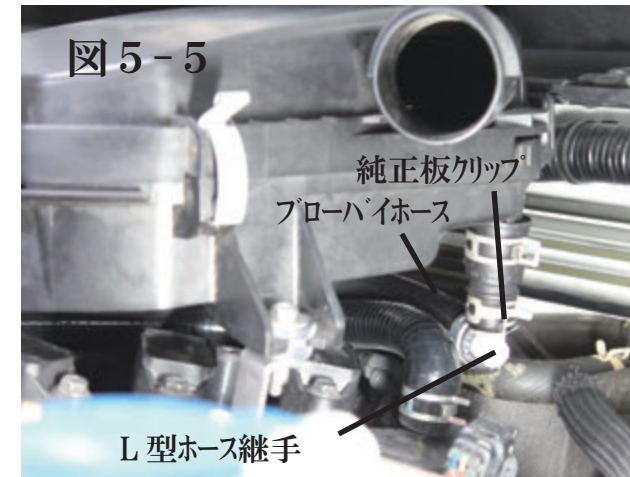
- 5-1 3で取り付けしたブローパイプを図5-1,2のようにオイルセパレータータンクの IN 側の口に合わせて適度な長さにカットし、板クリップでオイルセパレータータンクの IN 側に繋げて下さい。
- 5-2 もう一つのブローパイプを図5-1,2のように、オイルセパレータータンクの OUT 側の口に板クリップで繋げて下さい。



- 5-3 図5-3のように純正エアクリーナーボックスの裏にエアクリーナーアップステー大とエアクリーナーアップステー小を2-1で外した純正ボルト、6平W、M6ナイロンナットで取り付けて下さい。
- 5-4 純正エアクリーナーボックスを図5-4のように室内側にオフセットするように M6×15アプセットボルトで締付トルク 11N・mで取付けて下さい。



- 5-5 図5-5のように5-2で繋いだブローパイプを適度な長さにカットし、L型ホース継手と板クリップ、2-1で外した純正板クリップで純正エアクリーナーボックスに繋げて下さい。
- 5-6 図5-6のようにサクシオンホースに延長パイプを取付け、シリコンホースとホースバンドで純正エアクリーナーボックスに繋げて下さい。

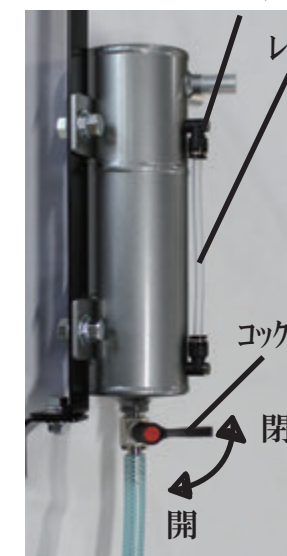


- 6 インテークホースや配線に当たらないようにオイルセパレータータンク本体を図6のように動かして調整し、仮止めていたボルトを全て締めて下さい。



- 7 定期的に、オイルセパレータータンクのレベルゲージを確認して廃油が溜まっていれば、コックを開いて排出し、廃油を処理し、取付けの緩みやオイル漏れが無い確認して下さい。

図7 ユニバーサルエルボ



※レベルゲージホースの外し方
ユニバーサルエルボのリングを押しながらレベルゲージのホースを引っ張って抜いて下さい。
戻す時はホースを差し込むだけです。
汚れて見えづらくなったら、外して汚れを取って下さい。
汚れが取れなくなった場合は、新しいレベルゲージホースを購入して下さい。
ユニバーサルエルボの取付部は緩めないで下さい。

※パワーエアクリーナーキットと併用する場合はブローパイプを図8のように接続して下さい。

